

戦争より平和の準備を

大軍拡NO 松江 上代県委員長、尾村県議らが宣伝



「平和、いのち、くらしを壊す戦争準備の大軍拡・大増税NO!連絡会」が呼びかけた全国一っせいの大宣伝行動に呼応し、松江市では9日、日本共産党の上代善雄県委員長、尾村としなり県議、岩田剛東部地区委員長、舟木健治、橘ふみ両市議が宣伝しました。

「と訴え、いま政治に必要なことは、戦争を起こさないための外交に知恵と力を尽くすことだと強調しました。」

尾村県議は、政府の2023年度一般会計予算総額(約114兆円)のうち、軍事費が前年度比2倍にも及んでいることを紹介。「軍事費よりも、暮らし、中小企業対策、農業、教育にこそ税金を使うべきだ」と力を込め、「戦争の準備より平和の準備を」との声を一緒に上げよう」と呼びかけました。(写真)

今は戦争前夜 自民党政治おさらばしよう

沖繩と連帯する会が講演・総会

「沖縄と連帯する島根の会」(高野孝治代表)は11日、松江市内で「講演と総会」を開き、約90人が参加しました。(写真)

高野氏は冒頭、「軍事費の膨張、原発の再稼働、

温暖化による異常気象、食料飢饉(ききん)そして貧困…。これらはすべてが深部で相互に関連している」と切り出し、地球温暖化や原発の問題について説明しました。



政権が進める「憲法破壊の危機」「軍事費膨張・生活破綻の危機」について言及し、「今は戦争前夜、平和を望むのなら岸田政権はもろろん自民党政治とおさらばしましょう」と訴えました。

党島根県委員会Facebook、Twitterのフォローを
日本共産党島根県委員会は、Facebook ページとTwitter を開設しています。島根県委員会からのお知らせや県内の地方議員の活動などをアップしています。スマホで下記のQRコードを読み込んで、ぜひフォローしてください。

島根県委員会 Facebook ページ → 
島根県委員会 Twitter → 

「専守防衛」のウンとヤジ

国会2週間。敵基地攻撃の大転換について岸田首相は、「(安倍政権が強行した)自衛権行使の

新3要件に基づいて判断する」「手の内を見せることになるので答えは差し控える」と繰り返しています。



参院議員(弁護士) **にしゅうへい** **西南の風**

ところが追及が「米軍と一体の先制攻撃ではないか」「反撃され日本が焦土と化すではないか」に及ぶと、一転、声は気色ばみ、「米軍と自衛隊はおのの独立した指揮系統」だとか「米

強しながら、「専守防衛は変わらない」と言い張って誤魔化そうとする岸田政権はあまりにも浅はかというべきです。議場の自民党や維新の議員たちからは、「先制攻撃なんて言っていないだろう」「日本が攻撃されることにはならない」などと口汚いヤジと怒号。

やっぱりそこが一番痛いです。年末の安保3文書の



戦争に勝者はなく、戦争は政治の敗北に他なりません。(2月6日記)

地域の話

困窮者への支援を 向田議員が要求

向田議員「コロナ禍で生活福祉資金の特例貸付を受けていた方々が、これから返済の時期を迎える。物価高騰の今、困窮者の生活実態を考慮した猶予や免除などの拡充が必要ではないか。」

中村健康福祉部長「世帯主の住民税非課税相当の利用者に対しては、申請により返還免除される措置が講じられていること、また、この度、失業や療養中など一定の条件を満たす利用者に対しては、返還をさらに1年間猶予する制度の拡充も行われることとなった。(向田と)

アムロム

災害から命を守れ 川西議員が質問

川西議員「政府はインフラや施設の点検を実施し、災害力所の指定と公表を行ったが、奥出雲町の避難経路等を含む新ハザードマップの作成、町民への周知徹底の進捗状況は。」

糸原町長「行政は、避難行動を町民が起こすスイッチである情報を提供して避難場所を設置してきた。配布したハザードマップで避難場所、避難経路を確認いただく取り組みを通じて、町民の防災意識の高揚を図っていきたい。ハザードマップ更新は、県の見直しを令和7年に公表

江津 有温泉地区街なみ環境整備事業

有温泉地区街なみ環境整備事業は、生活環境施設整備を中心に行うもので、市の都市計画課は3月中に方針を示し、2023年度に具体的な計画を策定し、24年度に事業を実施するとしています。

説明会では、すでに2回行われたワークショップで歴史資源である本明山・湯町、有温泉の大イチョウとまちづくりなどの視点が議論されてきたこと、公衆トイレ設置・狭隘道路改修・照明灯の設置などに加え、湯谷川の豪雨災害対策が要望されたことが報告されました。(「こ